



日耳鼻学会FAXニュース NO 143

平成20年8月20日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

診療所・病院とも20%以上減少

外来管理加算の新算定要件での影響調査(保団連) 外来管理加算の算定率は診療所全体では08年3月58.7%、同年4月45.3%となり、前月比で77.2%となった。

各科毎の減少幅は、皮膚科が24.4ポイント、小児科20.1ポイント、産婦人科17.6ポイント、内科15.4ポイントと続き、耳鼻科は10.8ポイント。08年度診療報酬改定の趣旨である小児科の重点評価とは相反する結果となった。

保団連の発表資料によると耳鼻科の状況は以下の通り。

	2008年3月	2008年4月
再診料の算定回数	246025	215244
外来管理加算の算定回数	37632	9599
外来管理加算の算定率	15.3%	4.5%

外来管理加算で診療所は800億円減 日医

日医は8月6日、2008年度診療報酬改定の緊急レセプト調査(4~6月分)を公表。総点数の前年同期比は全体で0.31%減(診療所1.85%減、病院0.68%増)、外来管理加算の算定回数は診療所で前年同期比26.38%減、病院で27.99%減と大幅に減少。診療所は算定回数の減少だけで744億円の減収になったと指摘。中医協で早急に検証を行い何らかの手当を実施すべきとの考えを示した。(J.M)

厚労省疑義解釈資料より(その3)

(問8) 区分番号B001の21耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料について、「耳鼻咽喉科と他の診療科を併せ標榜する保険医療機関にあっては、耳鼻咽喉科を専任する医師が当該指導管理を行った場合に限り算定するものであり、同一医師が当該保険医療機関が標榜する他の診療科を併せて担当している場合にあっては算定できない。」とあるが、耳鼻咽喉科とアレルギー科を併せて標榜している場合についても、これに従うのか。

(答) 耳鼻咽喉科に、アレルギー科、気管食道科及び小児耳鼻咽喉科を併せて標榜する場合については、これらを担当する医師が同一であっても、当該点数を算定できる。(平成20年度診療報酬改定に係る通知等について - 7月14日付けより)

アービタックスの頭頸部癌適応を申請

独メルクはこのほど抗癌剤「アービタックス」を再発・転移性の頭頸部扁平上皮癌のファーストライン治療に使うため、適応拡大申請を欧州医薬品審査庁に行ったと発表した。白金製剤ベースの化学療法に併用する同剤の有効性を調べた「EXTRENE試験」の結果に基づき、白金製剤ベースの化学療法単独群と比較したところ、併用群では生存期間が27ヶ月有意に延長した。承認されれば「新しい重要な標準治療法になる」との見通し。(J.M)

後発品・医師調査 品質不安が増加

後発医薬品の品質に不安を持つ医師の割合が5年前と比べて22ポイント増えていることが、医療専門マーケテ

ィングのティー・エム マーケティングが行った意識調査で分かった。不安がもっとも多いのは後発品の「効果面」で、漠然としたイメージではなく、使用実感や実験に基づいていた。

調査は全国の医師を対象に2008年2~3月(サンプル数1968人)に行い、2003年8~9月(同1692人)の結果と比較した。経口剤の後発品を使用している医師の6割弱が、先発医薬品と比べて「効果が劣る(劣ることがある)」と回答、4割は「味・使用感が劣る」、3割は「副作用が多い」と答えた。(J.M)

遠隔医療の診療対象拡大へ

厚労省、花粉症などを検討

テレビ電話などで患者を診断する「遠隔医療」で、厚労省は診療対象を現行の在宅喘息患者などに拡大する方向で検討に入った。深刻化する過疎地の医師や専門医不足に対応したもので、花粉症や皮膚病なども認められる可能性がある。

厚労省は現在、対面診断が困難な場合や、慢性期疾患で症状が安定している在宅患者に限り、糖尿病、喘息、高血圧、アトピー性皮膚炎、褥創などの症例を遠隔医療が可能との見解を通知で示しているが、医療現場では「通知にある症例以外はできないのか」とためらうケースが多いという。

在宅の遠隔医療は2005年10月時点で、全国80の病院と885の診療所で取り入れているが、全体の施設数の約1%にとどまっている。(J.M)

『鳥取FORUM 2008 in 米子』

明日役立知識をもって帰ろう

参加登録今からでもOK
多数の参加をお待ちしています



会場 : 米子全日空ホテル

プログラム

- 分科会 9月14日(日) 14:00~18:30
- 全体集会 9月15日(月・祝日) 9:00~12:30
- 懇親会 9月14日(日) 19:00~21:00
- 観光イカサクション 9月14日(日) 10:00~14:00

詳細は案内冊子を参照下さい

プロスタグランジンD₂・トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス錠 50mg / 75mg
ラマトロバン錠

Baynas 薬価基準収載

指定医薬品、処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること)
効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

販売(資料請求先:学術部) **日本新薬株式会社**
〒601-8550 京都市南区吉野町西ノ庄門町14
http://www.nippon-shinyaku.co.jp

製造販売元 **バイエル薬品株式会社**
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
http://www.bayer.co.jp/byl
(2008年8月作成)